

R元交流-3号 農山漁村交流拡大プラットフォーム設立業務
 プロポーザル方式提案に係る質問及び回答

	質 問	回 答
1	コアメンバー会議の構成人数の大まかな範囲があれば教えてほしい。	5～10人程度を想定しています。
2	コアメンバーで例示があった「行政関係者」とは具体的にどのような人物を想定しているのか。また県職員も含めて想定をしているのか。	行政関係者とは、県、市町村職員を想定しているが、県職員については、本業務を担当する職員は含みません。
3	「参画メンバーによるキックオフミーティング(設立イベント)」の開催規模は50名程度と記載があるが、「参画メンバー勉強会、セミナーの開催」も同規模を想定しているのか。対象者が同じであるため、両業務の人数規模に違いがあるのかを確認したい。	各勉強会、セミナーの人数規模は特に問いません。
4	「モデル地区でのワークショップ実施」について、実施イメージがつかみづらいため、例示するか、実施条件をより詳細に教えてほしい。また、別紙3に記載されている「モデル地区でのワークショップ実施」の「成果」とは何を指しているのか。	モデル地区の取り組みは、プラットフォームにより県内外の事業者との連携を試験的に行うものです。一例としては、各地域の課題や解決手法についてワークショップにより洗い出し、県内外の事業者との連携を検討することを想定しています。なお、提案によりワークショップ以外の手法により連携を進めることも可能です。 成果とは、ワークショップ等において、モデル地区が県内外の事業者との話し合いにより出された課題解決方法を実施することを指します。
5	特にコアメンバーの候補者について、企画提案書の中に具体名を含めても良いか。	具体名を含めてもかまいません。